

在宅看護論概論 授業② ～在宅看護の対象者～



福岡水巻看護助産学校
1年生

1. 対象者の特徴

1) 訪問看護の利用保険 (テキストP.26～27)



介護保険と医療保険の割合は？(グラフに書こう！)

介護保険を利用する人々 } それぞれの
医療保険を利用する人々 } 特徴を学ぼう！

いずれの利用も増えている！

～在宅看護の対象者～

(テキストP.26)

◎乳幼児から高齢者までの

◎ _____ によって、
療養生活の支援が必要な人々

◎家族も看護の _____ である

各保険の適用者 (テキストP.91～92)

介護保険・・・() 歳以上の高齢者で
要()・要() の認定者
(~) 歳で() の者

医療保険・・・すべての _____ で利用可

* 高齢者が要支援・要介護と認定されたら、
どちらが優先される？



2) 利用が多い年齢 (テキストP.27~28)

高齢者(65歳以上)が約()割を占める。
わが国の高齢者の割合は？

2019年

(すでに超高齢社会の基準21%を上回る)

2050年には...

や の世帯が
増え、 が困難に...
で支える必要性



利用保険による年齢の違い

総数で利用が最も多い年齢は？

介護保険だけを見ると...？

医療保険だけを見ると...？

なぜ、違いがあるのか？

★介護保険()の原則

を受けた高齢者は
原則、介護保険で訪問看護を利用する
一部、 が高い場合のみ
医療保険を利用する。

★ は、介護保険適応ではない。
医療保険で訪問看護を利用する。

小児や若年者の訪問看護が 増えているのは...？

医学の進歩で、超未熟児や難病、
重度障害を持つ小児や若年者も
救命されるようになったよ。

が増えて、
訪問看護も増えている。



3) 多い疾患は？ (テキストP.28～29)

訪問看護ステーション利用者の**傷病分類**で
最も多いのは？

* 循環器**系**疾患に注意！
どのような疾患が含まれるのか？

その他に多いのは？

医療保険利用者で多い疾患は？

* なぜ、介護保険利用者と違うのか？

4) 障害レベルは？ (テキストP.29～31)

障害者手帳を持つ人々

◎ () 障害者手帳(1～6級)

視覚
聴覚
言語

} 障害

肢体不自由

(呼吸不全、心不全、腎不全…)

◎ () 障害者() 手帳(1～3級)

日常生活自立度 (テキストP.30)

◎ 障害高齢者の() 判定基準
(ランク ～ : どの程度の活動をしているか)

↓
ベッド上の() ではない
() 全体の自立度

ランクJ:

A: 準寝たきり

B:

C:

介護保険利用者と医療保険利用者の 寝たきり度の違い (テキストP.31)

* 利用者が多いのは

介護保険利用者は、ランク()

医療保険利用者は、ランク()、()

* 介護保険利用者は、
医療保険利用者は

のケアも含み、
が多い。

要介護度

(テキストP.32～33)

◎要介護度・・・介護度の段階

要 1～2
要 1～5 } 7段階

要介護3以上は、介護量・種類が増加
(排泄援助、更衣介助、食事介助・・・)

要介護4以上は、ほぼ

* 訪問看護利用者の半数以上は要 以上
(中・重度介護者)

認知症の状況

(テキストP.31～32)

◎()の日常生活自立度判定規準
(ランク ～ :どの程度介護を要するか
みられる症状・行動)

* 利用者の()割に がある

* ランクⅢ以上は、重度認知症
があり、
(徘徊、感情の起伏、不潔行為、ADL低下
火の不始末、介護の拒否・・・)

Memo

2. 療養各期の対象者 (テキストP.33～36)

1) **在宅療養** の療養者
➡ 、療養環境の整備、 軽減

2) **医療ケア、医療器具使用者**
(チューブ挿入、褥傷ケア、酸素吸入・・・)
➡ 本人・家族への
介護負担の軽減



5) **リハビリテーション中の療養者**
➡ 維持的リハビリテーションが多い
の予防
(転倒による骨折、認知症、
嚥下性肺炎、褥創・・・)



6) **認知症療養者**
➡ 家族の負担軽減
の活用



7) **精神疾患療養者**
➡ 福祉サービスの活用
との連携

3) 療養者
➡ 病気の進行に伴う介護
に関わる医療ケアの選択を支援

4) 小児の療養(特に医療ケア児)
➡ 家族の負担軽減
を考慮
学校教育との連携
への配慮



8) の療養者
➡ **がん・・・苦痛の緩和**
慢性疾患や老衰
・・・機能低下に伴う援助
二次障害の予防
(テキストP.28、36より)

➡ **逝き方**や を考える
家族の をサポート
療養者逝去後の家族ケア
()



Memo

3. 住まい方と健康(テキストP.36～39)

1) 住環境の多様化

木造住宅
アパート
高層マンション

} **住まいと** は
関係性を持つ

室温、湿気、日当り、風通し
臭気、騒音、花粉の飛散
段差や手すりの設置状況、階段の段差



2) 住まい方

安全で清潔に環境整備されているか

- * や で適切な環境整備が困難な事も・・・
しかし、長年慣れた環境は変更が億劫
適切でないと自覚があっても・・・

- * _____では環境変化で混乱
症状悪化につながる場合も・・・



◎療養環境の整備は・・・

本人・家族の _____ する
必要性と変更について説明するが
決定は本人・家族が行う。

ナースの役割は、健康に住まうための
である。

